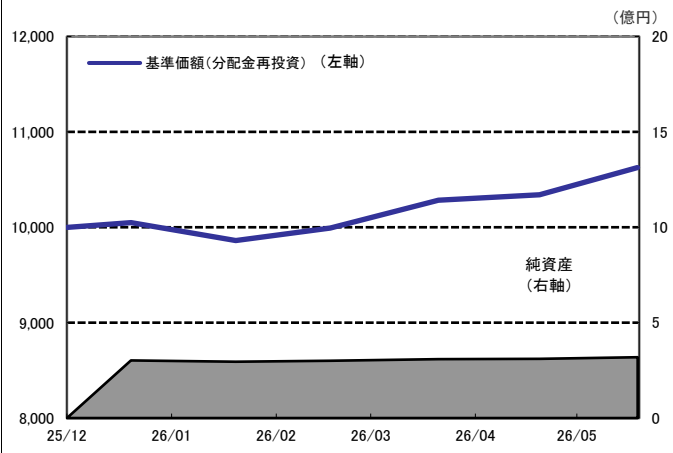


運用実績

2026年5月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 =10,000 として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,627 円

※分配金控除後

純資産総額 3.2 億円

- 信託設定日 2025年12月12日
- 信託期間 2035年1月30日まで
- 決算日 原則 1月30日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.8%
3ヵ月	6.3%
6ヵ月	-
1年	-
3年	-

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2026年1月	0 円
-	-
-	-
-	-
-	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 6.3%

設定来累計 0 円

設定来=2025年12月12日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

5月のパフォーマンス動向

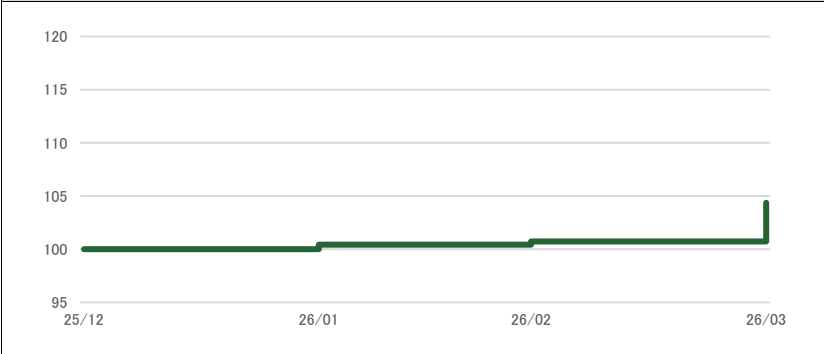
2026年5月29日 現在

- ・当ファンドの騰落率は+2.8%となりました。
- ・当月投資分配については、マッコーリー・プライベートマーケット・SICAV(ルクセンブルグ)ーマッコーリー・インフラストラクチャー・ファンドークラスN(米ドル建て、分配金なし)に95.5%、野村マネーマザーファンドに0.0%、残りについては現金等となりました。

資産配分状況と騰落率

2026年5月29日 現在

(ご参考)外国投資法人^{※1}の運用実績の推移^{※2} (2025年12月末 =100 として指数化:月次)



※1 野村マッコーリー・プライベート・インフラ・ファンド(野村SMA・EW向け)が主な投資対象とするマッコーリー・プライベートマーケット・SICAV(ルクセンブルグ)ーマッコーリー・インフラストラクチャー・ファンドークラスN(米ドル建て、分配金なし)(以下「外国投資法人」といいます。)を指します。運用実績や騰落率は、外国投資法人にかかる手数料控除後、分配金込みです。

※2 時点については外国投資法人の基準日を元に記載しております。

※3 時点は当ファンドの基準日を元に記載しております。外国投資法人については、本月報作成時点で入手できる外国投資法人にかかる最新の一口当たり評価額から計算した騰落率を記載しております。騰落率は当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※4 為替については、三菱UFJ銀行の対円仲値を用いています。

※5 配分比率は、当ファンドから投資に係わる実質的な比率を示しています。

* 当ファンドの基準価額は日次で算出されますが、基準価額に反映される外国投資法人の評価額の更新頻度は月次となります。

騰落率^{※3}

期間	外国投資法人 ^{※1}	米ドル円 ^{※4}
1ヵ月	3.6%	-0.6%
3ヵ月	4.4%	2.3%
6ヵ月	-	-
1年	-	-
3年	-	-
設定来	4.4%	-

投資対象資産

配分比率^{※5}

外国投資法人 ^{※1}	95.5%
野村マネーマザーファンド	0.0%
現金等	4.5%
合計	100.0%

(出所)野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

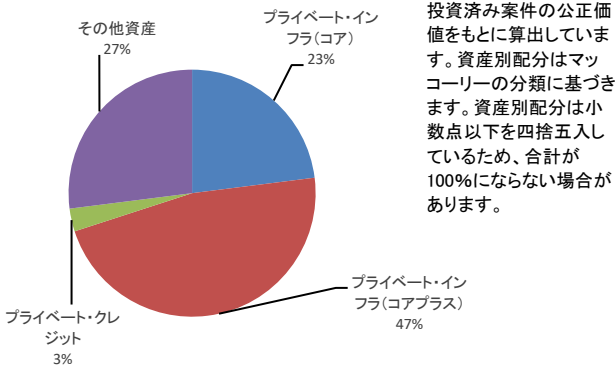
商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

マッコーリー・プライベートマーケット・SIGAV(ルクセンブルグ) – マッコーリー・インフラストラクチャー・ファンドクラスN(米ドル建て、分配金なし)の資産内容

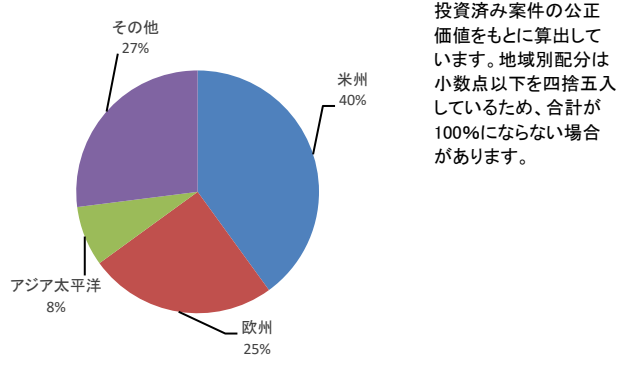
資産内容※1

2026年3月31日 現在

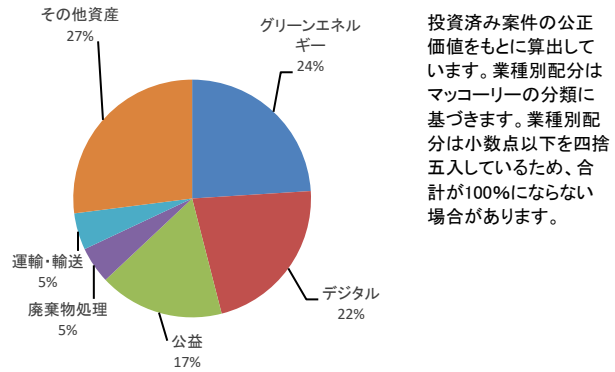
資産別配分



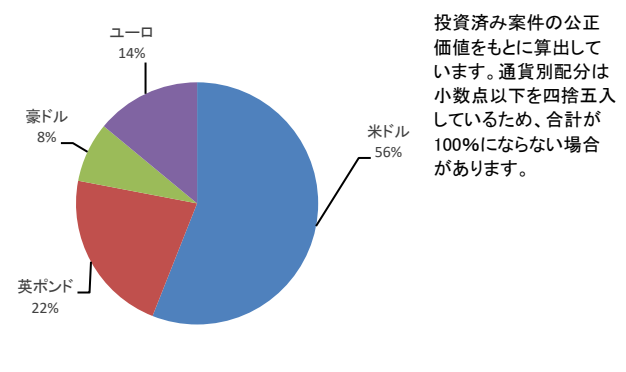
地域別配分



業種別配分



通貨別配分



ポートフォリオ特性値

分配金利回り	4.2%
--------	------

・分配金利回りは、外国投資法人の実績配当利回りを記載しております。

プライベート・クレジットの特性値※2

平均イールド	13.69%
平均残存期間	2.07年

※2 30%を上限としてプライベートクレジット・債券等を組み入れます。

その他資産の特性値

平均最終利回り	3.77%
平均残存期間	0.84年

※1 野村アセットマネジメントがマッコーリーからの情報提供に基づき作成しております。データの分類方法や評価基準日の一部が異なる場合があるため、概算値となりますのでご注意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

(出所)運用会社提供のデータより算出(運用会社とのデータ授受の関係により、開示は作成基準日の2カ月前)。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

マッコーリー・プライベートマーケッツ・SIGAV(ルクセンブルグ)ーマッコーリー・インフラストラクチャー・
ファンドークラスN(米ドル建て、分配金なし)の組入上位10銘柄

2026年3月31日 現在

No	投資先名称	国・地域	セクター	ウェイト	投資企業サマリー
1	Aligned Data Centers	北米	デジタル	14%	プライベート・インフラ案件。米国で最大級かつ最も急成長している大手データセンター事業者の1社であり、米国を含む6か国14の市場でデータセンターを運営しています。成長性の高いハイバースケールデータセンター(大規模データセンター)に特化しています。
2	DESRI	北米	グリーンエネルギー	14%	プライベート・インフラ案件。米国を代表する再生可能エネルギープラットフォームであり、運営する発電所の発電容量は約11GWに達します(建設中、契約済みの発電所含む)。超大規模な太陽光発電所の運営および蓄電技術に強みを有します。
3	Diamond Infrastructure Solutions	北米	公益	8%	プライベート・インフラ案件。米国沿岸地域の化学コンビナートに電気ガス水道などのサービスを一括供給する総合インフラプラットフォームです。生活に必要な製品(繊維や建設資材)に使われる基礎化学品の大手メーカーとの長期契約に基づきインフラサービスを提供しています。
4	Island Green Power	欧州	グリーンエネルギー	8%	プライベート・インフラ案件。英国を中心に太陽光発電所と蓄電システムの開発を手掛ける企業です。発電プロジェクトを開発後、発電事業者にプロジェクトを売却することを主たるビジネスとしており、豊富な売却実績を誇ります。
5	Vocus	アジア太平洋	デジタル	8%	プライベート・インフラ案件。オーストラリアを代表する光ファイバー事業者の1社であり、情報通信に必要な不可欠な光ファイバーネットワークを運営しています。5万km以上の自社所有光ファイバー、約1万5,000kmのグローバル海底ケーブルを擁し、約2万棟のビルに接続しています。
6	Southern Water	欧州	公益	6%	プライベート・インフラ案件。イングランド南東部において事業を展開する水道事業者であり、約480万人の下水道利用者および約270万人の水道利用者に対して、生活に不可欠なインフラサービスを提供しています。
7	Renewi	欧州	廃棄物リサイクル	5%	プライベート・インフラ案件。ベルギーとオランダを代表する総合廃棄物処理企業であり、年間1,000万トン以上の商業廃棄物および産業廃棄物を管理しています。欧州の循環型経済移行への貢献が期待されます。
8	Bristol & Birmingham Airports	欧州	運輸・輸送	4%	プライベート・インフラ案件。ブリストル空港は、イングランド南西部最大空港であり、英国で最も成長著しい地方空港の一つとしての実績を有し、現在、100以上の目的地へ旅客を輸送しています。バーミンガム空港は英国第7位の規模を誇り、英国第2の都市圏に位置し、高速道路や鉄道による優れたアクセスを背景に、広範な周辺地域からの集客が可能な空港です。
9	Project Ember	北米	グリーンエネルギー (インフラデット)	2%	プライベート・クレジット案件。コミュニティ・ソーラー(地域に太陽光発電設備を設置し、自宅の屋根に太陽光パネルを設置するのが難しい人でもそれを利用できる仕組み)の開発・運営を行なう企業に対する融資。
10	London City Airport	欧州	運輸・輸送	1%	プライベート・インフラ案件。ロンドン中心部に位置し、ロンドン・シティおよびカナリー・ワーフといった主要金融都市へのアクセスを有する空港です。ヒースロー空港とガトウィック空港の容量制約が深刻化するなか、需要シフトの恩恵を享受することが期待されています。

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
 ・外国投資法人のプライベート・インフラおよびプライベート・クレジットを対象とし、投資済み案件の公正価値をもとに算出した上位10案件です。
 (出所)運用会社提供のデータより算出(運用会社とのデータ授受の関係により、開示は作成基準日の2カ月前)。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

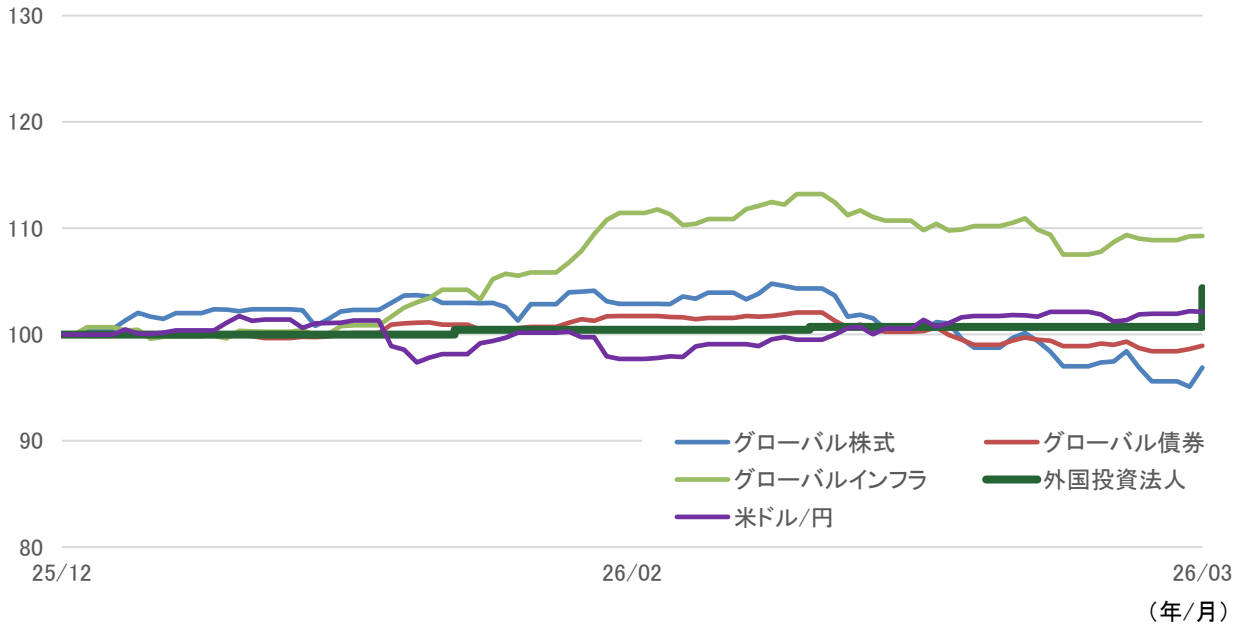
◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

外国投資法人^{※1}の運用実績および主要指数^{※2}の騰落率の推移^{※3}
(2025年12月末=100として指数化)

2026年3月31日 現在



※1 野村マッコーリー・プライベート・インフラ・ファンド(野村SMA・EW向け)が主な投資対象とするマッコーリー・プライベートマーケット・SICAV(ルクセンブルグ)ーマッコーリー・インフラストラクチャー・ファンドークラスN(米ドル建て、分配金なし)(以下「外国投資法人」といいます。)を指します。運用実績や騰落率は、外国投資法人にかかる手数料控除後、分配金込みです。

※2 グローバル株式:MSCI オール・カンントリー・ワールド指数(配当込み)、グローバル債券:ブルームバーグ・グローバル総合債券指数、グローバルインフラ:MSCI オール・カンントリー・ワールド・インフラ指数(配当込み)。為替については、三菱UFJ銀行の対円仲値を用いています。使用した主要指数については後述の「●当資料で使用した市場指数について」をご参照ください。

※3 時点については外国投資法人の基準日を元に記載しています。外国投資法人については、本報作成時点で入手できる外国投資法人にかかる最新の一口当たり評価額から計算した騰落率を記載しております。騰落率は当ファンドの運用実績ではありません。また、**当ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。主要指数は日次で算出されますが、外国投資法人の一口当たり純資産総額の計算は月に1度、月末基準にて実施されるため、主要指数は日次、外国投資法人は月次での掲載となります。**

* 当ファンドの基準価額は日次で算出されますが、基準価額に反映される外国投資法人の評価額の更新頻度は月次となります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資対象ファンド*1の投資環境、ポートフォリオ状況、今後の運用方針等について 2026年3月31日 現在

*1 マッコーリー・プライベート・マーケッツ・SICAV(ルクセンブルグ) – マッコーリー・インフラストラクチャー・ファンド・クラスN
(米ドル建て、分配金なし) (以下「外国投資法人」といいます。)

マンスリーアップデート

主要指数*2の当月のリターンは以下の通りでした。

グローバル株式: -7.1% グローバル債券: -3.1% グローバルインフラ: -3.5%

ファンドの投資対象である「外国投資法人」の騰落率(米ドルベース、手数料控除後、分配金込み)は+3.6%でした。

*2グローバル株式:MSCI オール・カントリー・ワールド指数(配当込み)、グローバル債券:ブルームバーグ・グローバル総合債券指数、
グローバルインフラ:MSCI オール・カントリー・ワールド・インフラ指数(配当込み)

使用した主要指数については後述の「●当資料で使用した市場指数について」をご参照ください。

ポートフォリオ状況

・投資対象ファンドであるマッコーリー・インフラストラクチャー・ファンド(MIF)は2025年2月28日の設立以来、順調に投資活動を進めています。

・MIFができるだけ早期にインフラ資産へのエクスポージャー(価格変動リスク資産の割合)を保有できるよう、マッコーリーは自己資金を用いて、運輸・輸送、デジタル、公益、グリーンエネルギーといったセクターにわたり、十分に分散された複数の非上場インフラ企業の株式を事前に確保してきました。

・2026年3月末時点で、MIFは主にデジタルとグリーンエネルギー分野に焦点を当てた19の投資を実行しています。これらの投資は、電子化、デジタル化という世界的な傾向にけん引され、成長が期待されています。同時に、長期的契約とインフレ時の価格転嫁を通じて、下方リスクが抑制されています。

今後の運用方針等

(以下の内容は当資料作成日時時点のものであり、予告なく変更する場合があります)

・資本成長と安定的なインカムを組み合わせた良好なリスク調整後リターンを獲得を目指し、グローバルに分散されたインフラ投資ポートフォリオを提供します。これまで機関投資家向けに提供されてきたプライベート・インフラの投資機会に個人投資家のアクセスが可能となります。

・人口動態の変化、脱炭素化、デジタル化といった長期のテーマに支えられたインフラ事業に着目し、“現場主義”(経営権を確保し積極的な経営支援を行ない現地人員による運営を図る投資手法)に代表されるマッコーリーの投資哲学に基づいた事業運営アプローチを活用します。

・2025年10月、MIFの組み入れ資産であるアラインド・データセンター(Aligned Data Centers)の売却が決定しました。売却時の企業価値は約400億米ドル(約6兆円)にのぼり、この取引は世界最大のデータセンター案件取引となる見込みです。売却先は米運用会社ブラックロックが主導する企業・投資家連合です。マッコーリーが投資を開始した2018年4月以来、アラインドは着実に事業価値を拡大してきました。ネット投資元本倍率はMIFによる投資開始時から約1.9倍となっています。

・主な投資対象はプライベート・インフラ・エクイティとしつつ、一部をインフラ・デットおよびその他資産に配分することで、利回りと流動性の確保を図ります。投資対象地域はグローバルで、OECD(経済協力開発機構)加盟国を中心に、米州約40%、欧州約40%、アジア太平洋地域約20%の配分を目標としています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にも帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人資産運用業協会/

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当ファンドは、一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。

当ファンドが実質的に投資対象とする非上場インフラ株の投資候補銘柄群の中には、寄与度(市場の時価総額に占める割合)が10%を超える、もしくは超える可能性が高い銘柄(支配的な銘柄)が存在すると考えられます。実質的な投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

換金に関する留意点

外国投資法人の解約注文の不成立等により投資対象資産の資金化が困難な場合等には、ファンドの換金申込みの受付を中止することおよび既に受付けた換金申込みの受付を取り消す場合があります。また当該事由が解消しない場合等には換金申込みの受付を中止する期間が長期化する場合があります。

投資リスク

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

ファンドは、外国投資法人等への投資を通じて、株式、債券およびローン等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券およびローンの価格下落や、当該株式の発行会社、当該債券およびローンの発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。ファンドは実質的に未上場株式を組み入れますので、流動性等による価格下落により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

● 株価変動リスク

ファンドは実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。ファンドは実質的に未上場株式を組み入れます。未上場株式は流動性が著しく乏しく、価格変動が極めて大きい場合があります。ファンドの基準価額は大きな影響を受ける場合があります。また、インフラ関連株式に実質的に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。なお、特定の銘柄に集中して実質的に投資することがありますので、上記の影響がより大きくなる可能性があります。

● 債券・ローンの価格変動リスク

債券(公社債等)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。一般的に、ローンは債券と比べて流動性が低いと考えられます。そのため、市場の混乱時やファンドに大量の資金変動が生じた場合等には機動的に保有資産を売買できない場合があります。また、ローンを売却する際の売却価値が当初の投資価値を大幅に下回る場合があります。ファンドの実質的な投資対象に含まれる格付けの低いまたは無格付けの債券・ローンについては、格付けの高い債券等に比べ、価格が大きく変動する可能性や組入債券等の元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクが高いと想定されます。

● 為替変動リスク

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.605% (税抜年0.55%) の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ^(注) 年1.855%程度(税込)+成功報酬 (注)ファンドが投資対象とする外国投資法人の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。なお、投資対象とする外国投資法人には、運用実績に応じて成功報酬がかかります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資対象とする外国投資法人の概要」をご参照ください。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

●当資料で使用した市場指数について

・MSCI オール・カントリー・ワールド指数(配当込み)、MSCI オール・カントリー・ワールド・インフラ指数(配当込み)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
・「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

当資料は、マッコーリーグループ内のいかなる法人による、投資対象ファンドまたはその原資産の持分の販売を含む、いかなる証券、商品、サービスのマーケティングや売買の勧誘等を意図するものではありません。
投資対象ファンドの持分の販売は適用法に従ってのみ行なわれます。

《分配金に関する留意点》

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

野村信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

野村マツコーリー・プライベート・インフラ・ファンド(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。